

ういとり



ういとりとは——
富山弁の“うい”（つらい、苦しい）をとるという意味です。

特集 甘く見ないで「口の中の病気」

～歯周病と全身の病気との関連性～



図 歯周病と全身の病気との関連性

歯周病が全身の病気に影響を及ぼす原因は、歯周病菌が血液に入り込み、全身を巡るからと言われています。逆に、全身の病気が口に影響を及ぼすこともわかってきました。

ここでは、病気ごとに口の中との関わりと日常生活における注意点について考えてみます。

脳出血・脳梗塞

口内の衛生状態が悪いと歯周病菌が増えます。その菌は、細かい傷口などから血液中に入り込み、臓器や血管壁に炎症を起こします。その結果、高血圧などで血管が破裂すると脳出血、動脈硬化などで血管が詰まると脳梗塞を発症します。もし発症

「口の中の病気が及ぼす影響は口の中だけでしょー」と思っていないませんか？ 近年の歯科医学研究によると、歯周病とさまざまな病気との関連性が判明してきています。

そこで、小林歯科医院（富山市太田口通り）の小林岳志先生に、歯周病と全身の病気との関わり、注意点について解説していただきました。



小林岳志先生

富山市（本紙配布エリア近隣）の歯科訪問診療を行っている歯科医院一覧

病 院 名	電話番号	住所
大浦歯科医院	422-4182	堀川小泉町231-2
大城歯科医院	425-4420	中野新町2-2-29
金川歯科医院	442-3888	総曲輪1-6-17
小池歯科医院	493-0066	大町2-9
小崎歯科医院	425-9334	新根塚町1-6-5
小林歯科医院	421-3929	太田口通り1-5-10
坂本歯科医院	441-6563	内幸町3-12 尚和ビル3F
島歯科医院	421-6613	上本町4-10
島崎歯科医院	491-1139	東町3-4-18
菅田歯科医院	421-7962	常盤町1-6
高橋歯科医院	441-6433	桜橋通り2-25 富山第一生命ビル2F
竹内歯科医院	425-7474	清水町9-2-2
永森歯科医院	421-3476	総曲輪4-6-8
三崎歯科医院	432-1552	北新町2-3-32
森井歯科クリニック	491-4818	清水元町1-40
山村歯科医院	493-3338	本郷町5区130-11
吉田歯科医院	422-1156	西四十物町2-16

2017年4月現在
富山市歯科医師会HP「歯科訪問診療協力歯科医院リスト」より抜粋

喫煙と歯周病の関係

現在、国では健康増進法改正に向けて、タバコの受動喫煙対策が進められています。実はこのタバコも、歯周病との関わりがあります。

タバコを吸うと、タールが歯に付着し、歯垢（プラーク）や歯石が付きやすくなります。また、ニコチンが血管を収縮させ、血流が悪くなるとともに酸素や栄養が不十分になります。唾液が減り、口の中が乾燥して再石灰化（歯の自然治癒）が行われにくくなり、さらには、免疫力が低下し、口内細菌と闘えなくなります。

通常、歯周病になると、歯茎が腫れ、ブラッシングの際に出血しやすいという症状が出ますが、喫煙者はこれらの症状が現れづらいのです。すると、喫煙者は歯周病の自覚症状がないうまま発見が遅れ、症状が進行するという悪循環に陥ってしまいます。

タバコは歯周病の危険因子であることを覚えておきましょう。

第1回 地域ういとり公開講座 口の中と全身の病気の関係／正しいブラッシング講座

【日時】平成29年5月14日（日）
午前10:00～11:00

【場所】横田病院1階待合ラウンジ

【講師】小林岳志先生（小林歯科医院）

※事前申し込みは必要ありません。当日、会場に直接お越しください。

【駐車場】当院の駐車場をご利用ください

【問い合わせ】横田病院 総務課

076-425-2800（代表）

気軽に
ご参加
ください

地域のみなさんの
心と体の“憂い”を“取る”
まちなか医療情報紙
ういとり

発行元

特定医療法人財団博仁会
横田病院
〒939-8085
富山市中野新町1-1-11
tel076-425-2800

配布エリア

総曲輪地区 ● 越前町、西町

星井町地区 ● 中野新町、太田口通り、星井町、山王町、西中野本町、西中野町

五番町地区 ● 上本町、五番町、南新町、古鍛冶町、南田町、梅沢町

西田地方地区 ● 花園町、千石町、西田地方町、磯部町、長柄町

堀川地区 ● 東中野町、大泉町

教えて!! ういとり先生 第3回

特定医療法人財団博仁会 横田病院

今月の担当



院長
菅原秀徳先生



副院長
村田浩之先生



医師
廣瀬雅代先生

今号のテーマ 歯周病は 糖尿病の第6の合併症?

医療用語やしくみなどについてQ&A形式でわかりやすく解説するこのコーナー。今回は歯周病と糖尿病の深い関わりについて説明します。

Q 糖尿病の合併症って?

A 糖尿病そのものより合併症のほうが日常生活へのダメージが大きいのが特徴です。主な合併症は、

- ①糖尿病網膜症（失明）
 - ②糖尿病腎症（腎不全）
 - ③糖尿病神経障害（進行すれば下肢切断の場合も）
 - ④糖尿病足病変（歩行障害など）
 - ⑤動脈硬化性疾患（狭心症、心筋梗塞、脳卒中など）
- が挙げられますが、最近では歯周病もその1つと考えられるようになってきました。
- また、①～⑤の病気が糖尿病があることで合併・併発しますが、反対に、歯周病により糖尿病になる可能性が高くなることが報告されています。



糖尿病

一般的に、血糖値が高くなっている状態を糖尿病と呼びますが、抵抗力が下がる、唾液の分泌量が減少する、白血球の機能が低下して細菌が増えるなどの理由から、歯周病にかかりやすくなります。よって、歯周病治療と同時に糖尿病治療を行わないと、歯周病が完治しないという症例が多く見受けられます。また、糖尿病の方は、そうでない方に比べ、2倍以上の確率で歯周病を発症するとも言われています。

骨粗鬆症

骨粗しょう症は、全身の骨強度が低下し、骨がもろくなって骨折しやすくなる病気です。患者は全国に約1000万人、そのうち閉経後の女性が9割と言われています。閉経後に骨代謝（骨の生まれ変わりに関わるホルモンのエストロゲン分泌の低下が原因で、骨だけではなく歯を支える歯槽骨ももろくなり、歯が抜け落ちるとともに歯周病にかかりやすくなります。

認知症

認知症には、それぞれ発症する原因が異なる脳血管性とアルツハイマー型の2種類があります。前者は脳卒中と同じで、動脈硬化を予防することで発症リスクを減らすことができます。後者は咀嚼する力が衰えると、脳への刺激が弱まり、発症や進行の危険が出てくるようです。歯磨きを忘れてしまうこともあるので、歯周病を予防しつつ、しっかりと噛むことが大切です。

「1日2回の歯磨き」と「歯の定期検診」が大切です

このように、歯周病は全身のさまざまな病気との関わりがある、危険な病気の1つなのです。「口は臓器の入口」であることを意識して、1日最低2回の歯磨きはもろんのこと、定期的に歯科検診を受けるようにしましょう。また、かかりつけ医に、自分の症状と歯との関わりについて、聞いてみるのも良いでしょう。もし、通院できない場合は、ご自宅に伺う訪問歯科診療もあります。お気軽にお問い合わせください。

Q なぜ糖尿病が増えているの?

A よく言われているのは、食生活の欧米化です。ファミレスやコンビニ、ハンバーガーなどのファストフードは高カロリー食が多く、内臓脂肪が溜まりやすい傾向があります。また、加齢によって歯の本数が少なくなり噛み合わせが悪くなると、柔らかい食材ばかり好んで食べるようになり、適正な栄養バランスを保てなくなるのも原因の1つです。

Q 糖尿病にならないためには?

A 食生活を改善するとともに、適度な運動も必要です。それに加えて、かかりつけの内科医と歯科医に相談してみるのも良いでしょう。内科と歯科という2つの診療科からのアプローチで、症状が改善されることも珍しくありません。気軽に相談してみましょう。



小林岳志先生(こばやし・たけし)
小林歯科医院歯科医師。大阪歯科大学卒業。兵庫の歯科医院勤務を経て、現在、小林歯科医院にて外来診療の傍ら、月100軒の患者宅を回り、歯科訪問診療に取り組んでいる。

心臓病

歯周病との関わりが高い心臓病には「感染性心内膜炎」と「虚血性心疾患」があります。

感染性心内膜炎は、抜歯や出血を伴う歯肉治療時に、傷ついた血管を通じて細菌が体内に入り込み、発症する危険があります。

虚血性心疾患は、狭心症と心筋梗塞が該当します。心筋に大量の酸素と栄養を送り込む冠動脈が動脈硬化を引き起こすことで発症しますが、その要因には高脂血症や糖尿病、喫煙、高血圧、痛風だけでなく、歯周病も含まれます。

した場合は血栓（血のかたまり）を溶かす薬を用いたり、脳血管が破裂していた場合には手術が必要となります。

誤嚥性肺炎

肺炎は、細菌や唾液が気道に入り込むことで炎症を引き起こす病気です。気道に唾液などの異物が入ると、通常は反射的にむせるなどして防げるのですが、身体活動が停滞する睡眠中にわずかな量の菌が流れ込み、誤嚥性肺炎となる危険があります。特に歯周病の方、歯の本数の少ない方は、唾液の中に多くの細菌が含まれており、その危険性が高まります。